レッスンガイド

正確な寸法の入力

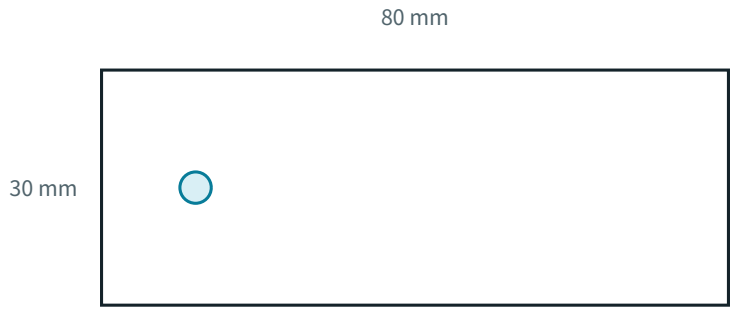
プロパティで各図形に正確なサイズを設定し、長方形と穴を個別に確認します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェアの練習

レーザーは必要ありません。これらのプロジェクトにはマシンプロファイルがなく、操作の出力はオフです。保存されている速度と出力の値は、素材の加工レシピではありません。

name-tag-start.lzrprojを開きます。100 × 45 mmの長方形と8 mmの円が含まれています。ミリメートル単位を使用し、一度に1つの図形だけを選択します。



実演の目標：80 × 30 mmの長方形と4 mmの円。アプリのスクリーンショットではなく、図解です。

1. 長方形の輪郭をクリックします。プロパティで、Wは幅、Hは高さを表します。

2. WとHの間にあるロックを**オフ**にします。Wに**80**と入力し、EnterまたはReturnを押します。Hに**30**と入力して適用します。

3. 空のキャンバスをクリックし、円の輪郭だけを選択します。W/Hロックを**オン**にして、円形を保ちます。

4. Wに**4**と入力し、EnterまたはReturnを押します。Hも**4**になります。

5. 各図形を個別に確認します。**name-tag-complete.lzrproj**と比較します。

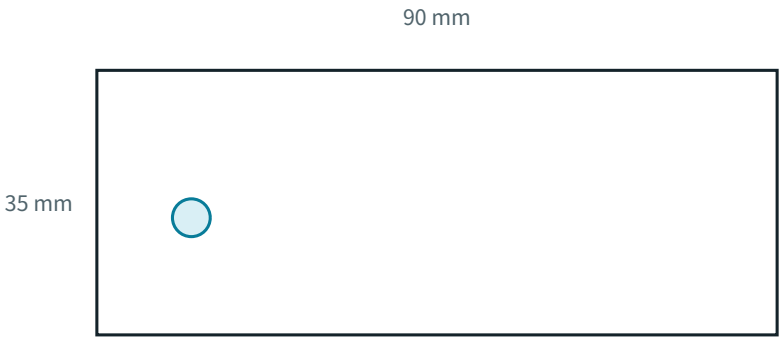
W/Hフィールドはアートワークのサイズを変更します。キャンバスのズームで変わるのは表示だけです。

自主練習

自主練習

元のプロジェクトからもう一度始めます。解答を開く前に課題に取り組みます。

長方形を**幅90 mm、高さ35 mm**にし、**5 mmの円形の穴**を作ります。長方形と穴は別々のオブジェクトとして保持します。



目標寸法です。この課題ではサイズを変更します。穴の正確な配置は採点しません。

□ name-tag-start.lzrprojを使用します。長方形ではW/Hロックを解除し、円ではオンにします。

□ 各入力をEnterまたはReturnで適用します。もう一方の図形を確認する前に、選択を解除します。

□ 名前を付けて保存で自分用のコピーを作成し、name-tag-practice-check.lzrprojと比較します。

長方形: W _____ mm H _____ mm

円: W _____ mm H _____ mm

両方の寸法が変わる場合

W/Hロックを確認します。長方形の幅と高さを個別に設定している間は、オフにします。

解説付きの解答

解説付きの解答

長方形: W 90 mm、H 35 mm
寸法は独立しています。W/Hロックをオフにすると、幅を変更しても、以前の比率が高さに強制されません。

円: W 5 mm、H 5 mm
比率ロックがオンになっているため、寸法が一致します。幅と高さが異なる円は、楕円に引き伸ばされます。

> **正しい選択範囲を確認する**
> 両方の図形を含む選択範囲では、結合された境界の寸法が表示されます。個々のサイズを確認するときは、長方形だけ、または円だけを選択します。

練習パックのファイル

name-tag-start.lzrproj
実演と自主練習に使用します。長方形100 × 45 mm、円8 × 8 mm。

name-tag-complete.lzrproj
実演の解答。長方形80 × 30 mm、円4 × 4 mm。

name-tag-practice-check.lzrproj
自主練習の解答。長方形90 × 35 mm、円5 × 5 mm。

提供されたファイルは編集可能なままです。元のファイルを保持し、自分の作業は別のプロジェクトとして保存します。この演習で確認するのは寸法であり、マシン設定や素材設定ではありません。

実演で使用したBeam Bench 0.2.37のインターフェースに対応しています。後のバージョンではパネルのレイアウトが異なる場合があります。